

博士論文公聴会のお知らせ（再掲示）

下記のとおり、博士論文公聴会を開催致します。

極限環境生物由来ヘム蛋白質の環境適応機構の解明

発表者： 藤井 創太郎（生物圏科学研究科 生物機能開発学専攻）

日時： 2017年 2月2日（木） 14:35～（1時間程度）

場所： 生物生産学部 C314講義室

酸素（ O_2 ）や一酸化窒素（NO）などの二原子ガスは、ヘム蛋白質に結合して輸送・代謝されるが、そのガス結合能は熱や酸によって失われる。温泉は高温・酸性環境として知られており、そこに生息する極限環境生物のヘム蛋白質は、どのようにして環境に適応しているのか未知な点が多い。本研究では、二原子ガス結合能を有する好熱菌由来シトクロムc'や酸耐性ユスリカ由来ヘモグロビンなどのヘム蛋白質について、生息する環境への適応機構の解明を目的とし、①好熱菌由来シトクロムc'のX線結晶構造解析、②酸耐性ユスリカを用いたRNA-seqによるトランスクリプトーム解析に取り組んだ。その結果、ヘム蛋白質の構造および機能レベルでの高温・酸性環境への適応機構を一部明らかにすることができた。

お問い合わせ先：

三本木 至宏（内線 7924）

E-mail: sambongi@hiroshima-u.ac.jp

※本公聴会は、生物圏科学研究科の共同セミナーとなります。



好熱菌由来
シトクロムc'の構造



酸耐性ユスリカ
Chironomus sulfurosus